



## 2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社ニチリン 上場取引所 東  
 コード番号 5184 URL <https://www.nichirin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 前田 龍一  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 香山 喬尚 TEL 079-252-4151  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	15,509	8.8	2,121	31.6	2,597	67.5	1,397	45.8
2020年12月期第1四半期	14,260	△9.1	1,611	△23.0	1,550	△25.3	958	△17.9

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 3,370百万円 (ー%) 2020年12月期第1四半期 △406百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	98.13	—
2020年12月期第1四半期	67.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2021年12月期第1四半期	63,766	43,198	58.3	2,610.45
2020年12月期	60,117	40,256	58.1	2,451.39

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 37,182百万円 2020年12月期 34,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	15.00	—	30.00	45.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	10.7	5,500	27.6	5,600	25.7	3,500	47.0	245.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	14,371,500株	2020年12月期	14,371,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	127,736株	2020年12月期	127,071株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	14,244,136株	2020年12月期1Q	14,221,138株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）における世界経済は、各国の製造業の生産活動が新型コロナウイルス危機前の水準まで戻るなど、回復が顕著となる一方、自動車業界を中心に深刻化する世界的な半導体不足や変異株による新型コロナウイルス感染の再加速により、経済活動は大幅な制約を受け、先行きは不透明な状況にあります。

米国においては、新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進展していること及びバイデン政権による1.9兆ドルの経済対策により、米国経済はV字回復が期待され、また、金融市場における株高・米ドル高など金利や為替の動向にも注目が集まっています。一方、半導体不足と異例の寒波の影響は、北米の自動車メーカーの減産や生産停止を引き起こしました。

欧州においては、新型コロナウイルスの影響はユーロ圏主要国で行動制限措置が実施される中、一部の国では新規感染者の増加ペースが再び加速し、活動規制を強化する動きが広がりました。経済の正常化を急ぐべくワクチン接種を進めていましたが、供給不足によるスケジュールの遅延が懸念されています。ただし、製造業においては感染再拡大の影響は限定的と見込まれ、在庫減少などを反映した回復傾向が持続しました。

中国においては、新型コロナウイルスの再拡大に対し部分的な都市封鎖の実施など、政府による強力な感染対策により国内の感染状況は落ち着いており、世界的にリモート需要が高いことを反映してハイテク関連産業などで生産拡大の動きが活発化しました。中国国内における感染収束の兆しが内需の押し上げに繋がる期待がある一方、半導体不足など世界経済を巡る不透明感や金融市場の安定化を重視する政府の姿勢には注目が集まっています。

アセアン地域においては、景気回復の進む中国と米国向けの輸出拡大や世界的なデジタル化需要など、製造業を中心に回復に向かいましたが、新型コロナウイルスによる影響については、タイとベトナムでは感染拡大の抑止に成功している一方、インドネシア等その他の国では感染拡大は収まっておらず、ワクチン普及による景気回復の安定化が期待されています。

日本経済は、昨年末において経済活動は急回復の局面にありましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大により今年1月の緊急事態宣言の再発出後は、対面型サービス業など個人消費を中心に停滞する懸念が高まっています。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界に関する状況は、次のとおりであります。

新型コロナウイルスによる市場の落ち込みは、予想より早く収束しましたが、一方で、リモート需要の急増は世界的な半導体不足をもたらし、さらに米国南部を襲った大寒波による停電や国内調達先の火災が半導体不足に追い打ちをかけ、日米の完成車メーカーの生産削減や生産停止を余儀なくされました。これらに対応すべく、日米両政府による半導体など重要部品の安定供給網（サプライチェーン）の構築の取組が行われていますが、半導体不足の解消の見込みについては、先行きは不透明な状況にあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における国内乗用車メーカー8社の国内四輪車販売台数は、前年同四半期比3.0%減の131万台、四輪車輸出台数は、前年同四半期比7.4%減の97万台となり、国内四輪車生産台数は、前年同四半期比4.7%減の214万台となりました。また、海外生産台数は、前年で新型コロナウイルスの深刻な影響を受けた中国市場が好転したことから、前年同四半期比17.0%増の434万台となりました。

このような環境のなか、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,509百万円（前年同四半期14,260百万円）、営業利益は2,121百万円（前年同四半期1,611百万円）、経常利益は2,597百万円（前年同四半期1,550百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,397百万円（前年同四半期958百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①日本

国内販売、海外子会社向け販売とも、新型コロナウイルスの影響による前年減産分の挽回生産に伴い増加した一方で、一部顧客で半導体不足による減産があり、売上高は7,840百万円（前年同四半期7,752百万円）、営業利益は732百万円（前年同四半期610百万円）となりました。

#### ②北米

北米市場は、昨秋以降、新型コロナウイルスからの回復が鮮明になりつつありましたが、半導体不足と寒波の影響で主要顧客が減産したため、売上高は2,484百万円（前年同四半期2,583百万円）、コンテナ不足による物流費の増加があり、営業利益は31百万円（前年同四半期33百万円）となりました。

③中国

新型コロナ対策では厳格な措置が取られていることで、中国経済は安定した成長が続いており、顧客が生産を一時停止した前年に比べ業績は大幅に改善し、売上高は2,839百万円（前年同四半期1,582百万円）、営業利益は401百万円（前年同四半期は営業損失109百万円）となりました。

④アジア

新型コロナ禍からの経済回復は、ベトナムを除いて遅れていますが、域内における2輪用ブレーキホースが堅調に推移したことに加え、北米、欧州向け販売が回復傾向にあるため、売上高は4,635百万円（前年同四半期4,380百万円）、営業利益は1,050百万円（前年同四半期1,022百万円）となりました。

⑤欧州

欧州市場でも、顧客の生産が回復傾向にあり、売上高は1,637百万円（前年同四半期1,487百万円）、スペイン子会社での生産性改善や、当社、アジア子会社からの最適調達により、営業利益は40百万円（前年同四半期は営業損失42百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、先進国を中心に回復軌道に戻りつつありますが、再び多くの地域で新型コロナの感染が拡大しており、引き続き大きなリスク要因となっています。これは日本経済も同様であり、景気の下振れリスクの高まりには十分注意する必要があります。景気の先行きは不透明です。

自動車業界では、主力市場である米中での販売は回復しておりますが、世界的な半導体不足や米国の寒波などによる生産への影響は懸念事項であります。

このように当社を取り巻く環境については年初の想定と大きな変化はなく推移しており、2021年12月期の連結業績予想については、2021年2月15日の公表値を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,757	16,085
受取手形及び売掛金	11,632	10,854
電子記録債権	1,527	1,561
商品及び製品	2,819	3,003
仕掛品	3,079	3,179
原材料及び貯蔵品	2,382	2,818
その他	1,709	1,511
貸倒引当金	△140	△93
流動資産合計	35,768	38,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,916	14,317
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,736	△6,945
建物及び構築物 (純額)	7,180	7,371
機械装置及び運搬具	21,674	22,559
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,887	△15,394
機械装置及び運搬具 (純額)	6,787	7,165
土地	3,562	3,484
建設仮勘定	865	706
その他	4,839	4,883
減価償却累計額	△3,082	△3,163
その他 (純額)	1,757	1,719
有形固定資産合計	20,153	20,446
無形固定資産		
顧客関連資産	234	236
その他	320	311
無形固定資産合計	554	547
投資その他の資産		
投資有価証券	2,742	2,805
繰延税金資産	393	408
その他	507	636
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	3,641	3,849
固定資産合計	24,349	24,843
資産合計	60,117	63,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,214	6,301
電子記録債務	3,139	3,233
短期借入金	507	389
1年内返済予定の長期借入金	701	666
1年内返済予定のリース債務	221	209
未払法人税等	595	917
賞与引当金	143	436
デリバティブ債務	—	15
その他	1,731	1,929
流動負債合計	13,255	14,098
固定負債		
長期借入金	1,520	1,363
リース債務	593	621
再評価に係る繰延税金負債	787	759
繰延税金負債	136	212
役員退職慰労引当金	9	10
退職給付に係る負債	3,325	3,317
その他	232	184
固定負債合計	6,605	6,469
負債合計	19,861	20,567
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,158	2,158
資本剰余金	2,001	2,001
利益剰余金	29,195	30,229
自己株式	△217	△218
株主資本合計	33,136	34,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,131	1,194
土地再評価差額金	1,786	1,722
為替換算調整勘定	△1,100	126
退職給付に係る調整累計額	△36	△31
その他の包括利益累計額合計	1,781	3,012
非支配株主持分	5,337	6,015
純資産合計	40,256	43,198
負債純資産合計	60,117	63,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	14,260	15,509
売上原価	10,893	11,785
売上総利益	3,366	3,724
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	395	420
貸倒引当金繰入額	△32	△54
役員報酬	80	70
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
給料及び手当	484	431
賞与引当金繰入額	77	78
退職給付費用	31	20
法定福利費	79	69
旅費及び交通費	54	30
租税公課	43	49
賃借料	55	42
減価償却費	66	73
のれん償却額	12	—
その他	404	369
販売費及び一般管理費合計	1,755	1,602
営業利益	1,611	2,121
営業外収益		
受取利息	20	18
受取配当金	12	10
受取賃貸料	9	10
為替差益	—	405
助成金収入	—	25
その他	19	30
営業外収益合計	61	500
営業外費用		
支払利息	3	15
為替差損	97	—
持分法による投資損失	0	—
その他	21	9
営業外費用合計	122	24
経常利益	1,550	2,597
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	—	42
特別利益合計	2	45
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	2	11
固定資産減損損失	—	96
特別損失合計	2	108
税金等調整前四半期純利益	1,549	2,534
法人税、住民税及び事業税	418	736
法人税等調整額	△129	0
法人税等合計	289	737
四半期純利益	1,260	1,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	301	399
親会社株主に帰属する四半期純利益	958	1,397

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,260	1,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△373	62
為替換算調整勘定	△1,297	1,506
退職給付に係る調整額	4	4
その他の包括利益合計	△1,666	1,573
四半期包括利益	△406	3,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163	2,692
非支配株主に係る四半期包括利益	△242	678

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	4,963	2,581	1,352	3,900	1,462	14,260	—	14,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,788	1	230	480	24	3,526	△3,526	—
計	7,752	2,583	1,582	4,380	1,487	17,786	△3,526	14,260
セグメント利益又は損 失 (△)	610	33	△109	1,022	△42	1,514	97	1,611

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額97百万円には、セグメント間の未実現損益38百万円、セグメント間取引消去58百万円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	4,979	2,475	2,580	3,945	1,529	15,509	—	15,509
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,860	9	258	690	108	3,927	△3,927	—
計	7,840	2,484	2,839	4,635	1,637	19,437	△3,927	15,509
セグメント利益	732	31	401	1,050	40	2,257	△136	2,121

(注) 1. セグメント利益の調整額△136百万円には、セグメント間の未実現損益△125百万円、セグメント間取引消去△10百万円等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。